

佐野短期大学シラバス2014

| 科目名 Course Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
|--|--|-----------|------|--------------|
| キャリア教育IV(情報) Career Education IV | | 2年 | 後期 | 別途、時間割参照 |
| 単位数 | 授業の形態 | 授業の性格 | | 履修上の制限 |
| 1単位 | 演習 | 必修 | | 特になし |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目 | | | | |
| なし。 | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| なし。 | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | 研究室の場所 | オフィスアワー | | 電話番号・メールアドレス |
| (主) 松崎勇人、全専任教員(クラス担任) | 授業中に指示します | 授業中に指示します | | 授業中に指示します |
| 授業の概要 | | | | |
| 講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。 | | | | |
| 授業の目標 | | | | |
| ①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、就業に向け心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| 基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。 | | | | |
| 学習の成果(学習成果) | | | | |
| ①自分の職業生活を設計できる。 ②職業生活に関わる大切なことを認識し実践できる。 ③自己の職業への適性を知り、能力を高めることができる。 ④他者とより良くコミュニケーションできる。 ⑤職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路が見出せる。 以上により、就職活動をして進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。 | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について。(松崎)。 個人面談(60分)。面談に該当しない学生は、指定図書を読む。9/25 | | | |
| 第2回目 | フィールド別ガイダンス。 個人面談(90分)。面談に該当しない学生は、指定図書を読む。10/2 | | | |
| 第3回目 | 時間の管理と手帳活用術。(大室)。 個人面談(45分)。面談に該当しない学生は、指定図書を読む。10/9 | | | |
| 第4回目 | 職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方2。(秋山)。 個人面談(45分)。面談に該当しない学生は、指定図書を読む。10/16 | | | |
| 第5回目 | 金銭の管理。(國分)。 個人面談(45分)。面談に該当しない学生は、指定図書を読む。10/23 | | | |
| 第6回目 | 進路状況別のガイダンス。(学生支援委員会・学生支援課)。 個人面談(45分)。面談に該当しない学生は、指定図書を読む。10/30 | | | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 第7回目 | 租税について。(外部講師)。 個人面談(45分)。面談に該当しない学生は、指定図書を読む。11/6 | | |
| 第8回目 | フィールド別ガイダンス。 ディベートの準備・個人面談(90分)。11/13 | | |
| 第9回目 | フィールド別ガイダンス。 ディベートの準備・個人面談(90分)。ディベートの発表用資料を提出。11/20 | | |
| 第10回目 | 健康管理と余暇の過ごし方1。(穂積)。 ディベートの実施・個人面談(45分)。11/27 | | |
| 第11回目 | 健康管理と余暇の過ごし方2。(穂積)。 ディベートの実施・個人面談(45分)。12/4 | | |
| 第12回目 | 労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険。(山田)。 個人面談(45分)。面談に該当しない学生は、指定図書を読む。12/11 | | |
| 第13回目 | 自己啓発。(國分)。 個人面談(45分)。面談に該当しない学生は、指定図書を読む。1/8 | | |
| 第14回目 | フィールド別ガイダンス。 個人面談(90分)。面談に該当しない学生は、指定図書を読む。1/15 | | |
| 第15回目 | まとめ。(松崎)。 個人面談(45分)。面談に該当しない学生は、指定図書を読む。レポート提出。1/22 | | |
| 成績評価の方法と基準 | | | |
| | 評価の領域 | 割合 | 評価の基準 |
| | 授業参加態度 | 30% | 最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。 |
| | レポート | 40% | 読書した本の内容をレポートとして提出し評価する。満点=指定図書の各章でのテーマを的確に捉え、わかりやすくまとめられている。 |
| | 調査報告書 | | |
| | 小テスト | | |
| | 試験 | | |
| | 発表内容(態度含む) | 30% | ディベートの発表態度と内容で評価する。満点=原稿やスクリーンを見ることなく、相手に向かって大きな声で生き生きとした調子で発表し、内容にもまとまりがある。 |
| | その他 | | |
| 教科書と参考図書 | | | |
| 『就職活動ガイドブック』(非売品のため購入する必要はない。) 『大学生のためのキャリアガイドブック』。参考書は講義中に適宜指示する。指定図書は経済・企業・コミュニケーションに関するものである。 | | | |
| 履修上の留意点・ルール | | | |
| 積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、フィールド毎の課題を必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で共通の講義資料を受け取る。各回のカッコの中の時間は、フィールド別の指導時間を意味する。 | | | |